

2025年度法学部進学内定者向け 手続き・履修ガイド

このガイドは、法学部への進学が内定した学生の皆さんを対象とした、今後の手続きおよび履修についての案内となります。目を通して、今後の参考としてください。手続き等の詳細は法学部ウェブサイトおよび教養学部ウェブサイト等で周知しますので、必ず確認し、手続きを忘れることがないようにしてください。

問い合わせ先：法学部学部チーム

窓 口：法文1号館2階(10～13時、14～15時・平日のみ)

年末年始、入試業務等で臨時に閉室となることがあります。

メール：gakubu.j[アット]gs.mail.u-tokyo.ac.jp ※[アット]を@に変換してください。

※法学部学習相談室について

法学部には、法学部生の皆さんの日ごろの学習や進路に関する悩みから、対人関係や心身健康の悩みに至るまで幅広く相談を受け付けている相談機関として、学習相談室があります。法学部に進学が内定した前期課程学生も利用することができますので、法学部での学修等に不安がある場合には利用を検討してみてください。

学習相談室ウェブサイト：<https://www.j.u-tokyo.ac.jp/adviser/about/>

1. 今後の手続き・スケジュール

進学までに必要な手続きは以下のとおりです。スケジュールはあくまで目安ですので、前後する可能性があります。詳細は法学部ウェブサイトまたは教養学部ウェブサイトに掲示しますので、必ず確認するようにしてください。

9月頃	①持ち出し専門科目(通年)の追加登録
10月頃	②Aセメスター持ち出し専門科目履修登録 ※教養学部前期課程が指定する期間 ③進学先所属登録(「類」の登録)
11月頃	④学生証用顔写真データ提出
2月初旬	⑤学部持ち出し専門科目定期試験(本郷キャンパスで実施予定)
3月頃	⑥2025年度Sセメスター演習参加申込 ⑦早期卒業認定申請手続き ⑧法科大学院開設科目の科目等履修応募
4月初旬	⑨進学手続き・進学者ガイダンス
4月頃	⑩履修登録(通年・S1S2・S1・S2開講科目) ⑪法科大学院進学プログラム登録手続き ⑫公共法務プログラム・国際取引法務プログラム登録手続き

進学前後の諸手続および連絡事項は、法学部在学生ウェブサイト(主に「教養1、2年生関係」)(<https://www.j.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/students/news/>)にも掲載されます。確認漏れにより必要な手続を行えなかったということがないように、随時更新内容を確認してください。

①持ち出し専門科目(通年)の追加登録【9月上旬掲示予定】

文科一類以外から進学内定となった等の理由で、Sセメスターから通年で開講されている持ち出し専門科目(憲法、民法第1部、刑法第1部)の履修登録をSセメスターに行っていなかったため、Aセメスターからの履修を希望する場合は、所定の時期に指定のフォームから届け出てください。事務で追加登録を行います。なお、「法社会学」についてはSセメスターで完結するため、追加登録の対象とはなりません。

②Aセメスター持ち出し専門科目履修登録【9月上旬揭示予定】

進学選択が終了した時点では、法学部への進学が「内定」した状態であることから、所属は教養学部前期課程となり、法学部に所属していることにはなりません。そのため、2Aセメスターでの履修登録は、教養学部前期課程で指示された期間に行うようにしてください。なお、法学部の持ち出し専門科目は2Sセメスター、2Aセメスターを通じて34単位を超える履修を行うことはできません。

③進学先所属登録(「類」の登録)

例年10月頃に教養学部前期課程のウェブサイトに登録時期等の詳細が掲載されますので、どの類への進学を希望するかを、指定された時期にUTASから登録してください。

④学生証用顔写真データ提出【10月下旬揭示予定】

学生証用顔写真データの提出方法については後日別途揭示を行います。予めデータ形式等を案内しますので、適切な顔写真データを事前に準備しておいてください。提出がない場合、学生証は作成できません。

データ形式

- ・ファイル形式: JPEG(拡張子が「.jpg」又は「.jpeg」)
- ・サイズ: 縦308ピクセル×横236ピクセル
- ・解像度: 300dpi(推奨)
- ・ファイル名: 「(法学部の学生証番号8桁)_(氏名)」
例) 01251234_法学 太郎.jpg(又は.jpeg)

《補足事項》

- ・カラー、正面向き、無帽・無背景、胸部から上が切れずに写っているものを用意してください。身分証として不適切と判断された写真では、学生証の発行を行わないことがあります。
- ・iPhoneで撮影した写真は「.HEIC」という拡張子のファイルで保存されることがありますが、これをそのまま学生証用顔写真データとして使用することはできません。JPEG形式で保存されるようiPhoneの設定を変更する、または変換ソフト等を利用してJPEG形式のファイルにする等の対応をお願いします。
- ・法学部の学生証番号は、8月現在、決まっておりません。学生証用顔写真データ提出方法の詳細を案内する際に発表しますので、いましばらくお待ちください。
- ・上記データ形式に一致しないデータを提出した場合、学生証を発行できない、または学生証の顔写真の画質が荒くなる恐れがあります。

⑤学部持ち出し専門科目定期試験(本郷キャンパスで実施予定)【12月中旬揭示予定】

法学部の持ち出し専門科目の授業は駒場キャンパスで実施しており、定期試験は本郷キャンパスにて実施します。詳細は教養学部や法学部のウェブサイトを確認してください。

⑥2025年度Sセメスター演習参加申込【翌年3月上旬揭示予定】

法学部の演習は、セメスター開始後にUTASにて履修登録を行う講義科目と異なり、セメスター開始前に申込期間を設けます。申し込んだ学生のうち、選考により履修が許可された学生のみ履修が可能です。履修が許可された演習の履修登録は事務で行います。また、演習は原則1セメスターに1つのみ履修できます。演習の履修を希望する場合、演習一覧やシラバス等を参考にして、所定の期間内に指定のフォームから申込を行ってください。

⑦早期卒業認定申請手続き【10月上旬揭示予定】

卒業後間を空けずに大学院等の高等教育機関での学修を続けることを計画する学生を対象として、法学部に進学した年度の3月もしくは進学した翌年度の9月に卒業することができる「早期卒業制度」を設けています。希望する場合、条件に当てはまるかどうかを確認したうえで所定の時期に手続きを行ってください。

⑧法科大学院開設科目の科目等履修応募【翌年3月上旬掲示予定】

⑪の法科大学院進学プログラムの登録者および登録予定者は、法科大学院の指定された一部の科目について科目等履修を行うことができます。科目等履修が認められ、評価が付いた場合は法科大学院進学後に法科大学院の修了に必要な科目として認定されます。希望する場合は、掲示等を確認のうえ、所定の時期に手続きを行うようにしてください。

⑨進学手続き・進学者ガイダンス【翌年3月中旬に掲示予定】

進学手続きでは主に学生証の交換を行います。進学者ガイダンスでは、法学部での学修に必要な事項を説明しますので、参加するようにしてください。

⑩履修登録(通年・S1S2・S1・S2開講科目)【翌年3月中旬に掲示予定】

4月中～下旬の履修登録期間に、通年、S1S2(Sセメスター)、S1ターム、S2タームで開講される科目のうち、履修を希望する科目をUTASから登録してください。S2ターム科目のみの履修登録期間を別途設けていないため、S2ターム科目についてもこの期間に登録してください。

法学部ではセメスターごとに24単位の履修上限を設けています。必修科目の再履修等、履修上限を超えて登録ができる場合もありますので、詳細は掲示を確認してください。

⑪法科大学院進学プログラム登録手続き【翌年3月中旬掲示予定】

卒業時に上記プログラムの修了認定を希望する学生は、所定の期間に専用フォームから登録手続きを行ってください。登録手続きを行わない場合、仮に取得単位等の要件を満たしても修了の認定を受けることはできません。

⑧の法科大学院開設科目の科目等履修を申し込んだ学生は、必ず法科大学院進学プログラムの登録手続きを行ってください(本プログラムに登録しなかった場合、履修許可を得ている場合でも自動的に科目等履修が取り消しとなります)。

法科大学院進学プログラムは、法学部に所属している学生であれば類を問わず登録可能です。

⑫公共法務プログラム・国際取引法務プログラム登録手続き【翌年3月中旬掲示予定】

卒業時に上記プログラムの修了認定を希望する学生は、所定の期間に専用フォームでの申請手続きを行ってください。手続きを行わない場合、単位を修得しても修了の認定を受けることはできません。

なお、この2つのプログラムは、第1類(法学総合コース)に所属している学生のみ登録可能です。

2. 卒業要件

法学部には、第1類(法学総合コース)、第2類(法律プロフェッション・コース)、第3類(政治コース)の3つの類が置かれており、希望に応じていずれかの類に所属することとなります。開講する科目は共通ですが、類ごとに設定された必修科目、選択必修科目が異なっているため、自身が希望する類の必修科目等を次ページの一覧や法学部規則で確認のうえ、2年生Aセメスターおよび今後の履修計画を立てるようにしてください。

【全ての類に共通】

卒業に必要な単位数:80単位

法学部での在学期間が1年を経過してから卒業までの期間に12単位以上取得

随意科目(他学部科目・グローバル教育センター開講科目)の単位は10単位まで選択科目に算入可

第1類(法学総合コース)

必修科目	24単位
選択必修科目(実定法)	12単位以上
選択必修科目(基礎法学)	4単位以上
選択必修科目(政治)	4単位以上
選択必修科目(経済)	4単位以上
選択科目	必修科目及び選択必修科目の単位と併せて80単位に達するまでの単位
外国語科目	必修科目, 選択必修科目及び選択科目の単位のうち4単位以上

配当科目一覧

(年度により開講セメスターが変更となることがあるため、最新の情報はウェブサイトで確認すること。)

	2年生Aセメスター (通年科目も含む)	3年生・4年生 Sセメスター	3年生・4年生 Aセメスター
必修科目 24単位	憲法 民法第1部 刑法第1部 政治学	民法第2部	—
		演習	
選択必修科目 (実定法) 12単位以上	国際法第1部	商法第1部 刑法第2部 行政法第1部 国際法第2部 民法基礎演習 民法第4部 商法第3部 民事訴訟法第2部 国際私法 租税法 社会保障法 国際ビジネス法	民法第3部 商法第2部 民事訴訟法第1部 刑事訴訟法 行政法第2部 労働法 民事訴訟法第3部 知的財産法 国法学 経済法 消費者法 アジア・ビジネス法
		特別講義(実定法)	
選択必修科目 (基礎法学) 4単位以上	日本近代法史 (法社会学(Sセメスター開講))	西洋法制史 英米法 フランス法 ドイツ法	日本法制史 ローマ法 東洋法制史 比較法原論 中国法 ロシア・旧ソ連法 イスラーム法 法哲学 法と経済学
		特別講義(基礎法学)	
選択必修科目 (政治) 4単位以上	ヨーロッパ政治史 国際政治	日本政治外交史 日本政治 国際政治史 比較政治II 政治学史	現代政治理論 行政学 アメリカ政治外交史 比較政治I 比較政治III 日本政治思想史 アジア政治外交史
		特別講義(政治)	
選択必修科目 (経済) 4単位以上	経済学基礎 統計学Ⅰ・Ⅱ	会計学 財政学 金融論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 国際経営Ⅰ・Ⅱ	労働経済Ⅰ・Ⅱ
選択科目		リサーチペーパー	

第2類(法律プロフェッション・コース)

必修科目 46単位

選択必修科目(基礎法学) 4単位以上

選択科目 必修科目及び選択必修科目の単位と併せて80単位に達するまでの単位

配当科目一覧

(年度により開講セメスターが変更となることがあるため、最新の情報はウェブサイトで確認すること。)

	2年生Aセメスター (通年科目も含む)	3年生・4年生 Sセメスター	3年生・4年生 Aセメスター
必修科目 46単位	憲法 民法第1部 刑法第1部 政治学	民法第2部 商法第1部 行政法第1部 民法基礎演習	民法第3部 民事訴訟法第1部 刑事訴訟法
選択必修科目 (基礎法学) 4単位以上	日本近代法史 (法社会学(Sセメスター開講))	演習	
		西洋法制史 英米法 フランス法 ドイツ法	日本法制史 ローマ法 東洋法制史 比較法原論 中国法 ロシア・旧ソ連法 イスラーム法 法哲学 法と経済学
		特別講義(基礎法学)	
選択科目	国際法第1部 ヨーロッパ政治史 国際政治 経済学基礎 統計学Ⅰ・Ⅱ	刑法第2部 国際法第2部 民法第4部 商法第3部 民事訴訟法第2部 国際私法 租税法 社会保障法 国際ビジネス法 日本政治外交史 日本政治 国際政治史 比較政治Ⅱ 政治学史 会計学 財政学 金融論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 国際経営Ⅰ・Ⅱ	商法第2部 行政法第2部 労働法 民事訴訟法第3部 知的財産法 国法学 経済法 消費者法 アジア・ビジネス法 現代政治理論 行政学 アメリカ政治外交史 比較政治Ⅰ 比較政治Ⅲ 日本政治思想史 アジア政治外交史 労働経済Ⅰ・Ⅱ
		リサーチペーパー・特別講義(基礎法学に分類されるもの以外)	

第3類(政治コース)

必修科目 20単位

選択必修科目(法学)4単位以上

選択必修科目(政治)16単位以上

選択必修科目(経済)4単位以上

選択科目 必修科目及び選択必修科目の単位と併せて80単位に達するまでの単位

配当科目一覧

(年度により開講セメスターが変更となることがあるため、最新の情報はウェブサイトで確認すること。)

	2年生Aセメスター (通年科目も含む)	3年生・4年生 Sセメスター	3年生・4年生 Aセメスター
必修科目 20単位	憲法 民法第1部 政治学	—	—
		演習・リサーチペーパー	
選択必修科目 (法学) 4単位以上	刑法第1部 国際法第1部 日本近代法史 (法社会学(Sセメスター開講))	民法第2部 商法第1部 刑法第2部 行政法第1部 国際法第2部 民法基礎演習 民法第4部 商法第3部 民事訴訟法第2部 国際私法 租税法 社会保障法 国際ビジネス法 西洋法制史 英米法 フランス法 ドイツ法	民法第3部 商法第2部 民事訴訟法第1部 刑事訴訟法 行政法第2部 労働法 民事訴訟法第3部 知的財産法 国法学 経済法 消費者法 アジア・ビジネス法 日本法制史 ローマ法 東洋法制史 比較法原論 中国法 ロシア・旧ソ連法 イスラーム法 法哲学 法と経済学
		特別講義(法学)	
選択必修科目 (政治) 16単位以上	ヨーロッパ政治史 国際政治	日本政治外交史 日本政治 国際政治史 比較政治II 政治学史	現代政治理論 行政学 アメリカ政治外交史 比較政治I 比較政治III 日本政治思想史 アジア政治外交史
		特別講義(政治)	
選択必修科目 (経済) 4単位以上	経済学基礎 統計学 I・II	会計学 財政学 金融論I・II 国際経済論I・II 国際経営I・II	労働経済I・II